

世界的SDGsビジネスコンテストHultPrizeを初開催

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



1 貧困を
なくそう



2 飢餓を
ゼロに



8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



SDGsの達成をテーマに121か国、100万人以上の学生が参加する世界的ビジネスコンテストHultPrize岡山大学大会を初開催。

自身の米国大学野球部での10か月間の経験から、岡山大学でも単なる友人の関係を越え、日本人と留学生が共通の目標に向かって協力する場を創出したいという思いで開催を決意。コロナの状況下においても、SDGsについて知り、解決のために主体的に行動を起こすHultPrizeは全ての岡山大学生にとってプラスの変化になるものだという信念で2019年11月頃より約1年間、3人の運営学生メンバーと共に行動を継続。

具体的には、対面で3回、Zoomで5回の計8回ワークショップを企画・開催し、学びと出会いの場を創出した。総参加人数は146人。そして、計7組（24名の学生）がプレゼンターとして出場するHultPrizeを岡山県内の大学として初めて開催。審査員には、農林水産省の地方参事官や、岡山大学の准教授、助教等4人の方々をご招待。また、大会には対面観覧とZoomでのLIVE配信を含め国内外から40名の観覧者が参加。学内のみならず、海外を含む大学生や大学院生、教授や職員の方々、多くの社会人の方々など様々な繋がり場を創出した。実際に、HultPrizeでの出会いをきっかけに複数の学生がゴミ拾い活動に参加するなど新しい可能性を生み出している。

学生の枠を超えて、留学生や教授・職員の方、地域社会の方々と出会うことでSDGs達成に不可欠な“人と人とのつながり”パートナーシップを醸成できると考える。

岡山大学経済学部経済学科 4年 西本 光輝

<http://www.hultprizeat.com/okayama-japan>

